広報
さめがわ

1971
7月号
No.212
編集兼発行
鮫川村総務課
塙町・佐藤印刷所

親と子と……

楽しい保育所の一日



保育所の父親参観日、子供達と遊戯をしたり、歌をうたったり、子供達は元気いっぱい大ハシヤギ……

⊙毎月1日は交通事故ゼロの日です
⊙第3日曜日は『家庭の日』です
家族そろって話し合いましょう

今月の人口

人口	6,502 (−9)
男	3,285 (−4)
女	3,217 (−5)
世帯	1,202 (−1)

土地の立入調査

阿武隈山系の大規模な開発を目的に一昨年から国が調査を始めましたが、今年は、開発可能地について、耕地としての適否を判定するため、土地に立入り土壌調査を行ないますので、該当される方のご協力をお願いします。

尚本村は、大家畜の経営拡大を目途とした、山系開発のモデル地区に指定される予定であり、これにより、開発の方向と可能性、および今後の対策が検討され、本村の農業総合開発基本計画が作成されます。計画作成のために、関係農家を対象にアンケート調査、その他各種の調査が現地において行われますので、関係地域の皆さんの持段のご協力をお願いします。

公　告

土地改良法第百十八条第一項の規定に基づく立入調査について、同条第三項の規定により、つぎのとおり公告する。

一、立入の場所

「広域農業総合開発基本調査対象地域」阿武隈地域のうち、つぎに掲げる市町村の区域とする。

福島県東白川郡鮫川村（以下省略）

二、立入の期間

つぎの期間内とする。

自昭和四十六年七月十日
至昭和四十七年三月三十一日

東北農政局阿武隈地域
総合開発調査事務所長

お隣の声み (3)

会津山間部農村を見る

村長　石田卯子八

鮫川村は、昨年度山村振興法による「振興山村」の指定をうけ、今年から四年間いろいろな振興施策を実施することになりました。

わが村が典型的な山村でありながら指定に至らなかつた理由は、産炭地振興臨時措置法の指定があつたからであります。

私は全国山村振興連盟の全国大会その他で、産炭と山振のダブル指定を強く主張してきましたが、昨年度からそれが認められることになり、本県では最初にわが村と双葉郡の川内村が指定をうけたわけであります。

会津山間部農村では、そのような事情もなかつたので、二三年前から指定をうけ、既に事業も実施中乃至は完成を見ているものもあります。

今年、村議会の研修視察がこれら振興山村の施策を対象に選ばれたので、私も同行させて貰うことになり、数年ぶりでこれらの町村を見る機会を得ました。

先づ県下の秘境といわれ伝説の村といわれる檜枝岐村を見ましたこの村は面積がわが村の三倍もありながら人口は八分の一にもみたない七六六人という特異な山村であります。しかし行政機構は、三課一室四出先機関をもち、一般会計予算は二億を超え、堂々たる入一億七千余万円という数字を見ることで納得がいくのであります

この自主財源の本体が只見川電源の固定資産税であることは申すまでもありません。

この村はいま観光の宝庫尾瀬の開発に力を入れております。尾瀬湖畔に国民宿舎尾瀬ヒュッテを経営し、自営隊の出動で道路を作り御池にロッジを造つて観光客に宿泊休憩の便を与えるなど、あらゆる努力をつくしております。

村営事業で行われるこれらの事業が、もとより収益を目ざすものではなく、公共的見地に立つ自然の保護紹介にあるのと住民のために観光産業の育成にあることもよくうなづけるのであります。

ただ村の中心街のたくましい近代化の歩みとうらはらに、道ばたの古い石仏群の存在が何か痛ましいような感じを与えているのが印象的でした。

南郷では山村振興計画で建てた総合開発センターを見ました。積雪が2m～4mというこの地域では、教養、娯楽、保養、集会などの機能を併せて持つ、このような総合センターが意義をもつのであります。一億四千五百万円を投じたこの施設が多額の起債を背負いながら、今後広く住民に親しまれ活用されていくために、運営面での工夫を期待してやみません。

最後に電源の町、ダムの町としてきこえた只見町を見ました。ここは自主財源の町税が三千三百余万円も入る富裕な自治体ですが、人口は減少の一途をたどり、今では九千人台を割つたということです。ここでも高壮な総合開発センターを建設中で、もう完成に近いようでしたが人口の傾斜的な流出にどのように作用するか、これからの運営に強い関心をもつとともに共通の課題として十分考えなければならないことを感じました

人事

役場の機構改革に伴い、去る七月一日付で人事異動を行いました

従来の二課制から四課制にし、教育委員会も課制を設けました。

昇格及び異動者次のとおり

◉村長部局

住民課長　蛭田　栄（産業福祉課長）
財政課長　緑川清幸（総務課財政担当主幹）
経済土木課長　蛭田三夫（総合農政対策室長）
（総務課）
消防防災係主事関根彦孝（産業福祉課福祉担当）
総務係　主事窪木美義（産業福祉課国保担当）
白河地方広域市町村圏整備組合派遣主事補　須藤好
（産業福祉課土木担当）
（財政課）
税政係長　窪木義信（総務課税務担当）
企画統計係長　関根武捷（総合農政対策室）
財政係　主事鈴木三千男（産業福祉課国保担当）
（住民課）
国保衛生係長　白坂邦次（出納員）
水道係長　鷲野谷　満（給食センター）
戸籍住民係　主事赤坂義郎（選挙管理委員会）

＝十年年金該当第一号＝

この年金は昭和三十六年四月一日から毎月一五〇円の掛金をかけてきた、明治三十九年四月二日から明治四十四年四月一日生れの人たちが貰らえる年金で、こんど証書の交付を受けた方は、赤坂西野字茅　白坂シヅさん外三名の方々です。

白坂さんは当時五十五才だったが、将来を見越してこの年金に任意で加入していました。今年四月で満六十五才になり年金が貰えることになったわけですが、去る七月九日年金該当第一号として村長から祝福の言葉が贈られ年額六万円の年金証書が手渡されました



「長生きはエイモンダナイ　…」とニコニコ顔で証書を受け取る白坂シヅさんと赤坂ヤスさん



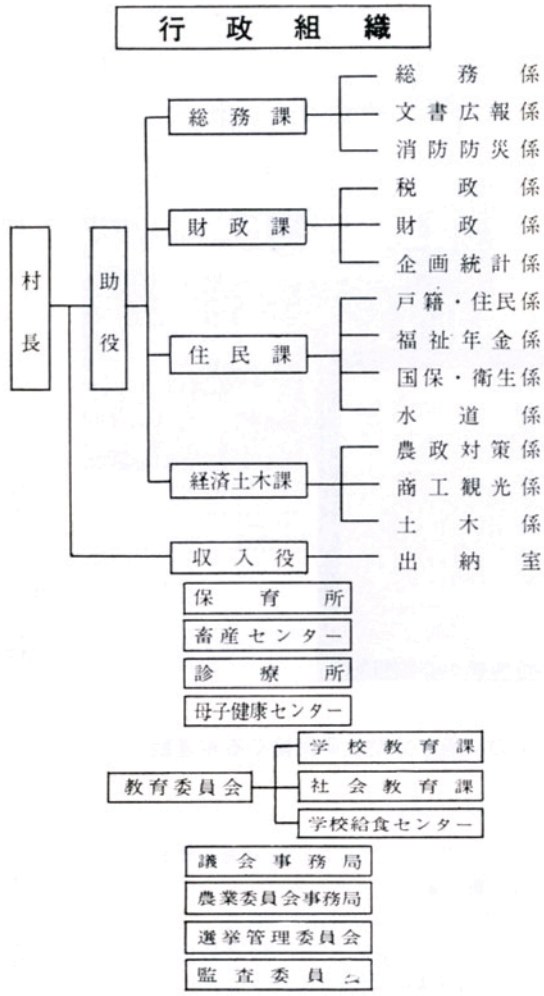
車は左＝人は右……交通ルールを守れば事故は防げます。



―― 消防偉力倍増 ――

第一分団（中野）の消防自動車を改造して新型のソフト吸管を装備しました

行政組織



福祉年金係　主事補青戸学男（総務課総務担当）
（経済土木課）
農政対策係長　高坂幸男（総務課税務担当）
商工観光係　主事大池清敏（産業福祉課戸籍担当）
出納員　青戸彦磨（診療所事務長）
（診療所）
事務長　鈴木一（議会事務局長）
事務長事務取扱　主事添田剛弘（畜産センター）
（畜産センター）
主事補　白坂利幸（総合農政対策室）
◉選挙管理委員会
書記　主事補藤田一男（総務課財務課総務係兼務）
◉議会
事務局長　鈴木英亮（教育委員会監査委員書記兼務）
◉教育委員会
学校教育課長　矢吹義照（産業福祉課福祉担当主幹）
社会教育課長　金沢次男（教育委員会教育次長）
スクールバス運転手　小滝健一（給食センター運転手）
給食センター所長
主事関根義栄（スクールバス運転手）

〔詩〕

郷愁の川

川、むかし川は
子供たちの友達だった
その友達は今
ぼろぼろな形骸をさらそう
としている
川、いま川は
私達の香い郷愁になって
しまうのだろうか

（紫野　美童子）

◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎健康診断を受けましょう

今年も次により、一般住民の健康診断を実施しますので、該当者は一人残らず受診されるようお知らせします。健康診断の内容は次の通りです。

満一六才以上全員、レントゲン撮影（高校生は除く）

四十才以上の方の血圧測定及び健康相談。

乳幼児のツベルクリン反応接種及びBCG接種は後日実施します

実施月日

七月二十八日　西野区内
七月二十九日　西山区内
七月三十日　中野区内（西野・西山の一部）
七月三十一日　中野区内（中野・東石の一部）
八月二十三日　東石区内（富田の一部）
八月二十四日　富田区内（渡瀬の一部）
八月二十五日　青生野区内（渡瀬の一部）

なお時間、場所等については追つて回覧文書でお知らせします。

〕〕〕農業共済組合だより〔〔〔〔〔

昭和四十二年十一月に東白川郡管内、四町村の農業共済組合が合併してから五年目を迎えました。最近の農業諸情勢の変貌に伴つて緻密な計画性のある農業経営が望まれる今日、我々農業共済組合も唯一の農業災害補償機関として、その責任の重大さを痛感しております。

農業共済事業の円滑な運営は、農家皆様の御理解と、御協力を得なければなりません。

このたび役員の改選及び鮫川出張所職員の異動がありましたのでお知らせします。

役員の任期満了に伴つて鮫川村から次の方々が選ばれました。

理事　前田　栄美
〃　星　弥義
〃　鷲野谷巳之二
監事　山形　操

六月一日付職員の人事異動で、次の方が鮫川出張所を担当します

所長（技師）白石芳次（塙）
主事　佐藤介夫（棚倉）
技師　青戸良一（鮫川）

損害評価会委員（組合評価員）は次の方々が選任されました。

須藤金一・高野一己・阿久津春男・高木定典・遠藤正雄・松本栄一・遠藤幹雄・新妻貞夫

以上の人事構成で組合運営、及び事業を担当しますので皆様の御理解と御協力をお願い致します。

県広報コンクール「広報さめがわ」入選

昭和45年度県主催の広報コンクールに昨年9月号の「広報さめがわ」を応募しましたが、町村の部で入選しました。

去る6月18日県労働福祉会館で表彰式があり、賞状と記念品が授与されました。

◉町村の部入選（5町村）

鮫川村・白沢村・田島町・本宮町・保原町



☆夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動☆

1．期　間

運動期間　7月21日から8月20日まで

2．重点事項

(1)過労運転、飲酒運転の防止
(2)こどもと、老人の交通事故防止
(3)行楽等に伴う安全運転の確保

篤志寄附

青生野の山形亨さんが役場をおとづれ、交通安全施設のために役立てて下さいと二万円を寄附されました。

山形さんは、今年の一月に長男（十七才）を東京で交通事故のため亡くしており、こうした事故を起さないよう、交通安全を祈願して寄附されたものであり、村ではさつそく交通安全のために役立てるよう検討しています。

六月おめでた

新宿　石井　典夫　父　政光
岩野草　松崎　孝幸　父　健一

六月おくやみ

道少田　白坂　クラ　68才　世帯主
大沢　関根　勝蔵　78才　正勝
中　鈴木　清助　82才　清
二本田　湯坐　キノ　75才　辰弥　数馬